



神奈川県資料室研究会

神奈川県資料室研究会（神資研）は、主として神奈川県内にある、企業、大学、研究所、公共機関などの情報部門資料室、図書館及び知財担当部門等で組織され、その運営向上について、お互いに連絡や研修、研究を行っている団体です。

<https://ncsaas.cu-mo.jp/shinshiken/htdocs/>

神奈川県資料室研究会とは

神奈川県資料室研究会、略して神資研（しんしけん）は1961年に設立された京浜地区資料室運営研究会を母体にし、1963年に発足しました。

2021年には、60周年を迎えました。

神資研は、神奈川県、近隣都県内の企業、大学、公共機関の資料室、図書館、情報部門によって構成されており、月例会などの活動を中心に、資料室等の運営向上とスキルアップに努めています。

近年はコロナウイルス感染症の影響を契機に、オンラインでの例会を開始し、リアル開催では参加が難しかった会員も、多く参加することが出来るようになりました。

講演会は「泥臭さ」と「半歩先を行く」というモットーをもとに、著作権や電子ジャーナルなど、会員からの要望の高いテーマについて取り上げています。

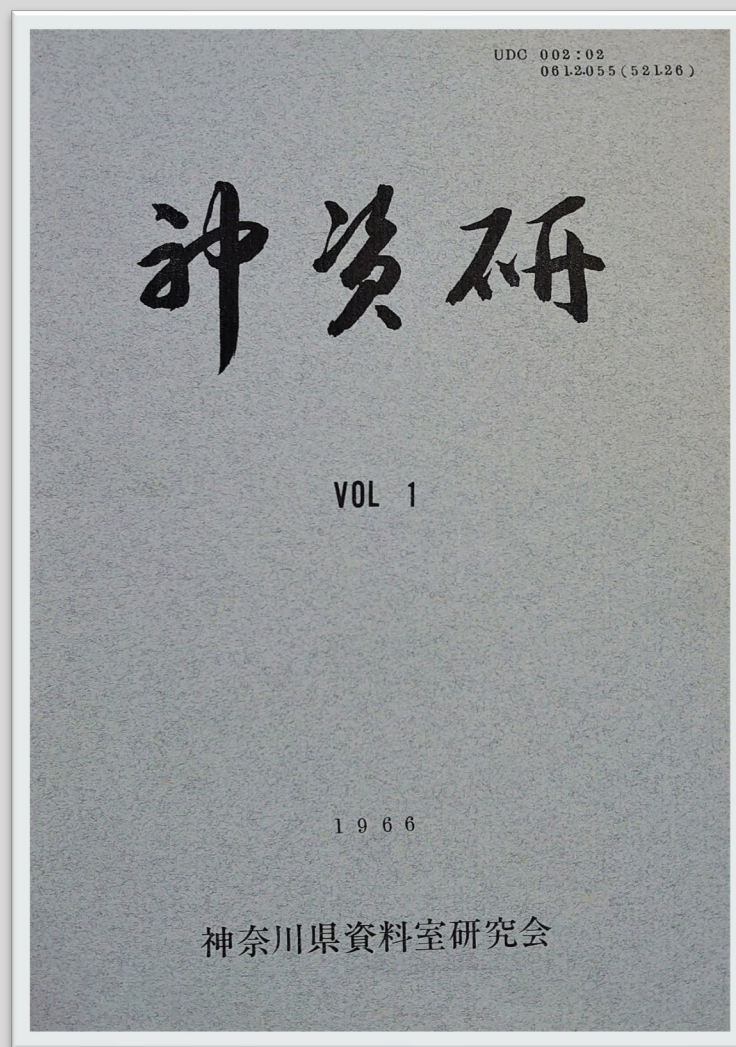
2025年10月現在の会員数は、正会員56 賛助会員11 個人会員19です。

神資研のあゆみ

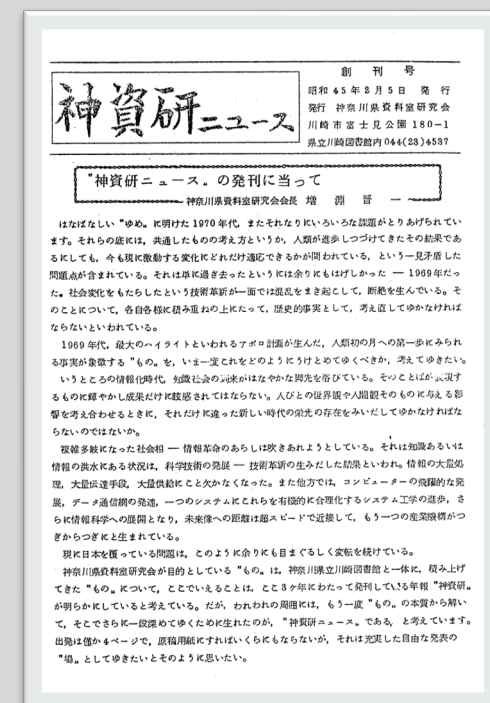
年（西暦）	内 容
S36（1961）	第1回京浜地区資料室運営研究会発足 第1回研究会（月例研究会の始まり）
S38（1963）	神奈川県資料室研究会と改称、設立総会を開催（参加者32名） 会則を定め、役員を選出（32会員）
S42（1967）	神資研年報発刊
S44（1969）	科学技術セミナー(福岡市)にて情報管理活動研究団体として神資研紹介される JICST全国研究集会にて「神資研の活動状況」を発表
S45（1970）	神資研ニュース発刊
S46（1971）	10周年記念行事式典を開催
S48（1973）	S47年度「科学技術白書」に神資研が紹介される
S51（1976）	レファレンスサービス事例集を刊行
S52（1977）	会員数100機関に達する
S53（1978）	神資研に英語名決まる（Kanagawa Association of Special Libraries and Information Bureaus）
S56（1981）	第6回日本ドクメンテーション協会賞の優秀ドクメンテーション機関賞受賞 20周年記念式典を開催

神資研 活動の一例

part 1



年報「神資研」刊行（1967）



神資研ニュース創刊
(1970)

S57 (1982) ～H16 (2004)

年（西暦）	内 容
S57 (1982)	神資研のシンボルマークが決定
S59 (1984)	「オンライン検索ノート」を刊行
S61 (1986)	神資研創立25周年記念特別講演会を開催
S62 (1987)	神資研ニュース第200号刊行（別冊総目次101～200号作成）
H1 (1989)	「神資研ネット利用案内」を刊行
H3 (1991)	神資研30周年記念行事を開催
H5 (1993)	神資研ニュース連載「ビジネスデータベースの検索マニュアル」（津田義臣著）を編集刊行
H8 (1996)	神資研ニュース第300号を発行
H9 (1997)	レファレンス分科会ぱーとつー活動報告「ぱーとツールーレファレンスで困ったときの紙だのみ集」を刊行
H11 (1999)	神資研メーリングリストを開設
H13 (2001)	神資研ホームページ開設 神資研40周年記念行事を開催
H14 (2002)	「デポジット・ライブラリー」構想をとりまとめる
H16 (2004)	「デポジット・ライブラリー」を開設、利用開始 第6回図書館総合展でブースを初出展、フォーラムを主催

神資研 活動の一例

part 2



神資研シンボルマーク決定 (1982)

神資研のシンボルマークは、当時の会員に公募して決定しました。

カエルの目玉、腹、肢を表したものです。
人物の横顔にも見えるよう、目玉部分に切り欠きが入っています。

すばらしいジャンプ力を潜めているカエルは
明日の神資研を象徴していると言えないこともない、
という思いからデザインされました。

H20（2008）～R7（2025）

年（西暦）	内 容
H20（2008）	県立の図書館資料の神資研会員機関向け貸出を制度化
H22（2010）	神資研事務局としての活動が評価され、県立川崎図書館が第12回図書館サポートフォーラム賞受賞
H23（2011）	神資研50周年記念行事を開催
H26（2014）	図書館を支援する団体として、神資研が第100回全国図書館大会で日本図書館協会から感謝状を贈られる
H27（2015）	「デポジット・ライブラリー」コレクション評価まとまる
H29（2017）	50年以上の持続可能な活動とその実績に基づいた官民連携的な取り組みの成果が評価され、神資研がLibrary of the Yearのライブラリアンシップ賞受賞
H30（2018）	事務局を担当する県立川崎図書館がKSPへ移転 県立川崎図書館を対象とした調査研究に対し、研究助成募集開始
R2（2020）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため例会を中止 Zoomを導入し、初のオンライン例会を開催
R3（2021）	神資研60周年記念式典、特別講演会をオンラインで開催
R4（2022）	図書館総合展ONLINE_plusに初参加
R7（2025）	2023年から引き続き図書館総合展オンサイト+オンラインに参加

神資研 活動の一例

part 3



さまざまな刊行物



第12回図書館サポート
フォーラム賞受賞 (2010)



Library of the Year 2017
ライブラリアンシップ賞受賞



定例会の参加

講演会や見学会等の例会に参加できます。
現在は、主にオンラインでの例会を定期的に開催しています。



図書の機関貸出

県立の図書館で所蔵している図書資料
を郵送で機関貸出することができます。
(正会員のみ)



年報・機関誌の配布

例会の記録等を掲載する機関誌「神資研
ニュース」や年報「神資研」を無料で
読むことができます。

神資研会員に
なると
できること

神奈川県資料室研究会と県立川崎図書館との共同事業

科学技術系外国語雑誌 デポジット・ライブラリーについて

デポジット・ライブラリーとは

神資研の会員機関より、保管が困難になった学術洋雑誌等を県立川崎図書館に寄贈していただき、会員機関および県民に広く活用していただく制度のことです。

2004年4月よりデポジット・ライブラリーの運用が開始され、県立川崎図書館と宅配便で資料の運搬を行っています。

場所は旧県立野庭高校、現神奈川県教育委員会文化遺産課収蔵センターです。

※ デポジット・ライブラリー所蔵雑誌はCiNii Booksでも検索ができます。



近年の例会一覧（2020年度）

開催日	タイトル・講師
10月16日	デジタル文献の利活用と著作権コンプライアンス 富井 俊行 氏（Rights Direct Japan株式会社 マネージングディレクター） 石島 寿道 氏（一般社団法人学術著作権協会）
11月20日	コロナ禍とカビ対策 高鳥 浩介 氏（NPO法人 カビ相談センター代表） ナカバヤシ(株) 図書館ソリューション営業部殿
12月18日	図書室・資料室のコロナ対策（グループディスカッション）
1月22日	DX時代における企業ライブラリーのリノベーション ～富士通株式会社殿 F3rd Kawasaki Library（愛称：EGG）の事例～ 大森 圭子氏 （富士通株式会社 法務・知財・内部統制推進本部知財インテリジェンスサービス統括部）
2月25日	ディスカバリーとArticle Galaxy 井手 孝次郎氏（ユサコ株式会社 アカデミア事業部 プロダクトマネジメント） 和泉 孝弥氏 （ユサコ株式会社 アカデミア事業部 プロダクトマネジメント）

近年の例会一覧（2021年度）

開催日	タイトル・講師
7月16日	オンラインフリートーク
10月29日	60周年記念特別講演会 近年の著作権改正の状況 福井 健策氏（骨董通り法律事務所 For the Arts 代表パートナー）
1月21日	神奈川大学図書館の今 ～みなとみらいキャンパスの新サービスを中心に～ 小池 孝昌 氏（神奈川大学 みなとみらい図書課 課長補佐）
2月28日	ライブラリーのあり方再考 ～「場」としてのウィズコロナ対応～ 平田 エマ氏 （公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部次長 兼 BIZCOLI館長）
3月4日	電子書籍をめぐる課題と事例－KinoDenを題材に－ 西田 和之氏（株式会社 紀伊國屋書店 デジタル情報営業部 部長）

近年の例会一覧（2022年度）

開催日	タイトル・講師
4月22日	電子書籍をめぐる課題と事例－Mel:Maruzen eBook Libraryを題材に－ 川口 達也 氏（丸善雄松堂 学術情報ソリューション事業部 企画開発統括部Maruzen eBook Library担当主任）
5月20日	「モノだけではなく、価値をお預かりする」 －寺田倉庫の取り組みと書籍保管による新たな余白創出の事例について－ 上殿 信 氏（寺田倉庫株式会社 ドキュメントソリューショングループマーケティングチーム ディレクター）
6月17日	研究を支援する最適な学術文献ワークフローソリューション 麿 尚久 氏（株式会社サンメディアArticle Direct & NPA イニシアチブグループ マネージャー） 古賀 めぐみ 氏（株式会社サンメディアArticle Direct & NPA イニシアチブグループ リーダー） 堀 恭子 氏（株式会社サンメディアCCS権利処理推進室 マネージャー）
7月15日	オープンアクセスの現状とSpringer Natureの活動 浦上 裕光 氏（アカデミック・エンゲージメント・ディレクター、シュプリンガー・ネイチャー）
9月16日	文献複写の電子化著作権処理（電子入手・電子保存）について 河本 茉莉那 氏（メデックス・ジャパン株式会社ドキュメントソリューション事業部マネージャー） 堺 登範 氏（メデックス・ジャパン株式会社 代表取締役社長）
10月21日	学術情報の歩み－学術雑誌の誕生からオープンアクセスまで 有田 正規 氏（大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所教授）
2月17日	バーチャルライブラリへのチャレンジ 中村 茂登子 氏 横井 研哉 氏（株式会社リコー 先端技術研究所 技術情報センター）

近年の例会一覧（2023年度）

開催日	タイトル・講師
5月19日	出版・書店業界の現状と紀伊國屋書店の取り組み 大野 繁治 氏（株式会社紀伊國屋書店 営業総本部 副総本部長 専務取締役）
7月21日	ジャーナル・インパクトファクターの基礎知識 棚橋 佳子氏（東京農業大学 学術情報課程 教授）
9月15日	図書館業務システムとの「つきあい方」－導入からリプレイスまで－ 赤枝 幸子 氏（株式会社ブレインテック） 斎藤 恵 氏（株式会社ブレインテック） 関 乃里子 氏（株式会社ブレインテック）
11月15日	職場における著作権問題の境界線を探ろう！ 友利 昂 氏（『職場の著作権対応100の法則』 著者）
12月14日	見学会：神奈川県立図書館
1月19日	国会図書館員の調べる技術－いま明かされる秘伝の数々 小林 昌樹 氏（『調べる技術』 著者）

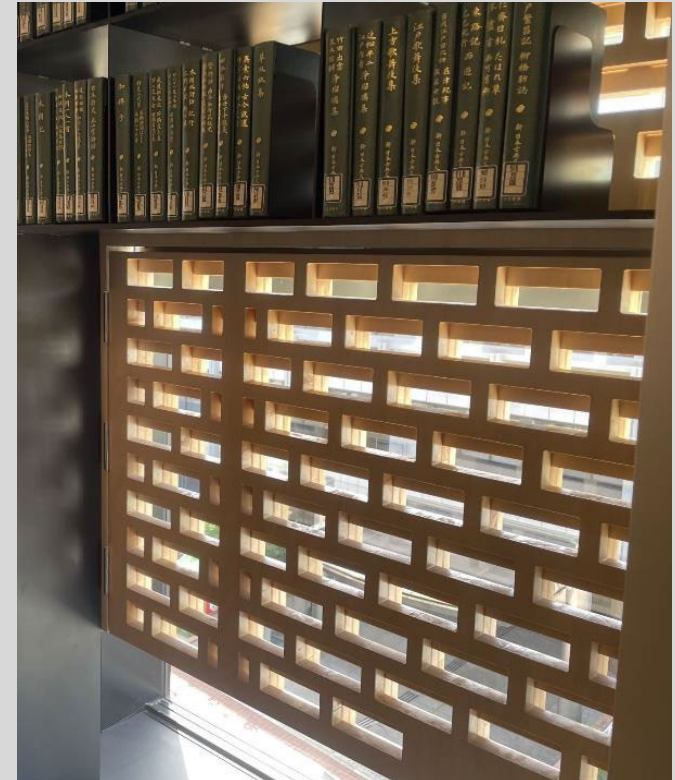
近年の例会一覧（2024年度）

開催日	タイトル・講師
6月18日	見学会：国立研究開発法人海洋研究開発機構 横浜研究所
7月19日	“近未来”における図書館サービスのデザイン －AIとの“付き合い方”を中心に－ 野末 俊比古氏（青山学院大学教育人間科学部長・教授 革新技術と社会共創研究所副所長）
9月19日	見学会：神奈川大学みなとみらいキャンパス
11月19日	AIと図書館 清田 陽司氏（一般社団法人情報科学技術協会会長・麗澤大学 工学部教授）
12月20日	古野電気・企業図書室担当の想い 中井 恵里氏（古野電気株式会社）
1月17日	ライブラリデザイン 鈴木 康友氏（丸善雄松堂株式会社 地域共育事業本部 本部長）

2025年度 例会一覧

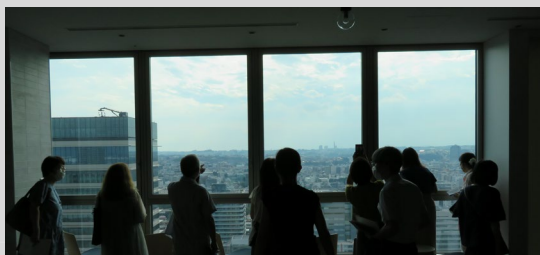
開催日	タイトル・講師
6月20日	講演会 & 見学会：図書史料室の運営管理 櫻井 由佳氏（東京海上日動火災保険株式会社 業務企画部調査企画G.図書史料室）
7月18日	グループディスカッション： 私たちの図書館とこれからの神資研について話そう
9月19日	石川県立図書館の新しい挑戦と能登半島地震での対応 空 良寛氏（石川県立図書館 利用推進課長）
11月12日	AIと著作権の基本－最新のAI関連の話題の紹介とともに－ 小林 利明氏（高樹町法律事務所）
12月12日	新しい図書館・広報（仮） 浅野 隆夫氏（札幌市図書・情報館初代館長／札幌市まちづくり政策局プロジェクト担当部長）
1月16日	生成AI（仮）

最近の例会の様子（見学会）



2023年12月14日(木)開催
第694回例会：見学会『神奈川県立図書館』

最近の例会の様子（見学会）



2024年9月19日(木)開催
第698回例会：見学会『神奈川大学みなとみらいキャンパス』

最近の例会の様子（講演会）



2024年12月20日(金)開催
第700回例会：講演会『古野電気・企業図書室担当の想い』中井 恵里氏（古野電気株式会社）

神奈川県資料室研究会12月例会

古野電気・企業図書室 担当の想い

講師 中井 恵里氏
古野電気株式会社

開催日時 2024 12/20 金
14:00-16:00

会場 神奈川県立川崎図書館
カンファレンスルーム
213-0012 川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP西棟2F

定員 40名

年末交流会のお知らせ

12月例会は、久しぶりのリアル開催となりますので、
例会終了後に年末交流会を実施します。
交流会のみの参加も歓迎です。
奮ってご参加ください。

会場：RESTAURANT & GALLERY PALETTE
213-0012 川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP西棟2F

時間：17:00-20:00

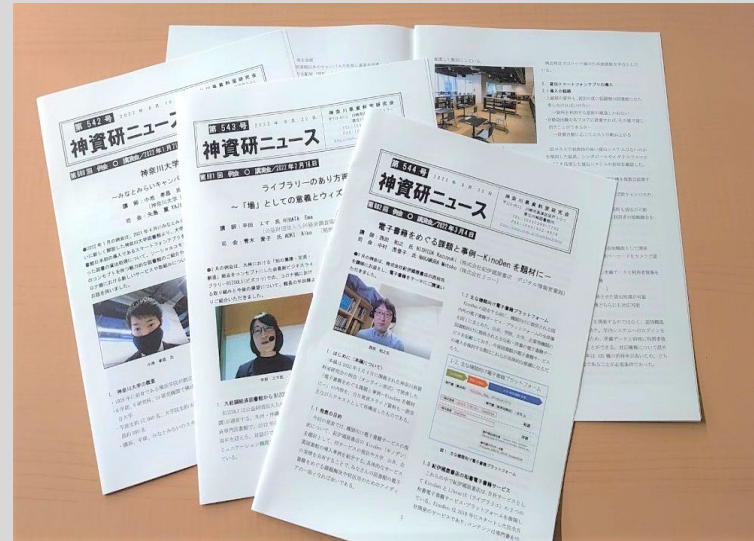
会費：3,000~4,000円



例会後には講師を交えて
5年ぶりの年末交流会も実施

刊行物

会員に無料で
配布される刊行物



神資研ニュース

例会記録、次回例会の案内、
の記事等会員へのお知らせ、
情報関連を中心に編集されて
います。



年報「神資研」

前年度の活動内容の詳細な
報告を掲載するほか、関心
の強いテーマを特集として
とりあげています。年1回
発行。